

第4回秋田県公立高等学校入学者選抜に係る
検討委員会 議事録（概要）

秋田県教育委員会

第4回秋田県公立高等学校入学者選抜に係る検討委員会議事録（概要）

- 1 期 日 令和元年11月12日 火曜日
- 2 場 所 秋田県議会棟2階 特別会議室
- 3 開 会 10時00分
- 4 閉 会 12時00分
- 5 出席委員 高橋 秀晴 田仲 誠佑 石郷岡仁司 野村 重公
稲荷 一清 鈴木 康 安田 浩幸 菅原 勉
檜尾 尚樹 難波 文彦 古谷 昌規 石嶋勝比古

6 教育庁（事務局）出席者

義務教育課長	石川政昭	高校教育課長	伊藤雅和
保健体育課長	高橋周也	義務教育課副主幹	畑 朋幸
義務教育課副主幹	櫻庭直美	高校教育課主幹	瀧澤徳彦
高校教育課副主幹	荒川正明	高校教育課副主幹	藤澤 修
高校教育課副主幹	下橋 実	保健体育課副主幹	高田屋馨
高校教育課主任指導主事	能美佳央	高校教育課主任指導主事	勝又貞臣
高校教育課指導主事	根守 潤	高校教育課指導主事	柏谷浩樹

7 次第

- (1) 開会
- (2) 県教育委員会挨拶
- (3) 報告
前回の検討委員会の協議内容について
- (4) 協議
素案の検討
- (5) その他
- (6) 閉会

第4回秋田県公立高等学校入学者選抜に係る検討委員会

協議の要旨

○委員からの意見

- ・特色選抜と一般選抜を同一日に実施し、かつ面接も全員に課すとなった場合、日程を1日に収めるために質問数が少なくなり、適正な評価が得られないということがないようにすべきである。
- ・定時制課程は現行では3教科で選抜を実施しているが、学力の保障という観点から、定時制の生徒にも様々な進路選択があることを考えると、5教科でもいいのではないかと思う。
- ・現行の前期選抜において、部活動で頑張ろうと思って入学したが、何らかの事情で部を辞めざるを得ないという生徒であっても、別の部活動で活躍して実績を収める場合もある。部活動で志望する生徒であれば運動能力に長けており、その運動部だけがその生徒に適しているというわけではないと思うので、学校の先生方が共通認識をもって、学校全体でサポートする体制をお願いしたい。
- ・特色選抜と一般選抜を併願出来るとなった場合、どちらにも出願する受検生は増えるのではないかと思う。今は受ける時期が違う選抜が一緒の日程になるので、例えば200人の志願者のうち100人が両方に出願し、その中から合格者を出すとなった時に、特色選抜での合格者が何人で一般選抜での合格者が何人かということに、大きな意味があるのだろうかと思う。中身としてはどちらかなのだが、学校としての合格者ということで、分けずに発表してもいいのではないかと思う。
- ・特色選抜と一般選抜のそれぞれの特徴が明確化され、ただ2つ出せばいいということではないということがしっかりと示すことができ、それが中学校側に浸透していけば、非常にいい形になると思う。